

1 主題名 助け合う友達

第1学年及び第2学年B- (9) 【友情, 信頼】

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本時は、小学校第1学年及び第2学年の内容項目「友達と仲よくし、助け合うこと。」に関するものである。これは、友達との間に、信頼と切磋琢磨の精神をもつ児童の育成をねらいとしている。よい友達関係を築くには、学習活動や生活の様々な場面を通して自分と異なる考え方、行動をする友達とも互いに認め合い、助け合うことが大切である。この時期の児童は、自己中心的であり、相手の気持ちを考えずに行動してしまうことがある。しかし、学級で生活を共にしながら、遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合う経験を重ね、友達のよさを感じたりすることで、仲間意識を持ち始めてくる。そこで、友達とかかわり合う場面が増えるこの時期に、身近にいる友達と仲よく活動し、助け合おうとする心情を育てたいと願い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について (男子13名 女子6名 合計19人)

①友達と仲よく過ごせていますか。	はい14名, あまり・いいえ5名	
②けんかは、どんなことで起きることが多いですか。	ふざけすぎてしまう/話を聞いていない/自分勝手/人の気持ちを考えない	
③友達がいてよかったと思う時はありますか。	はい13名	あまり・いいえ6名
	遊ぶ時/助けられた時/誘われた時	わからない/けんかしてしまうから
④困っている友達(のび太君)を助けますか。	はい11名	あまり・いいえ8名
	友達だから/かわいそうだから	怖い/勇気が出ない
⑤助け合ってよかったと思う時はありますか。	はい15名, いいえ4名	

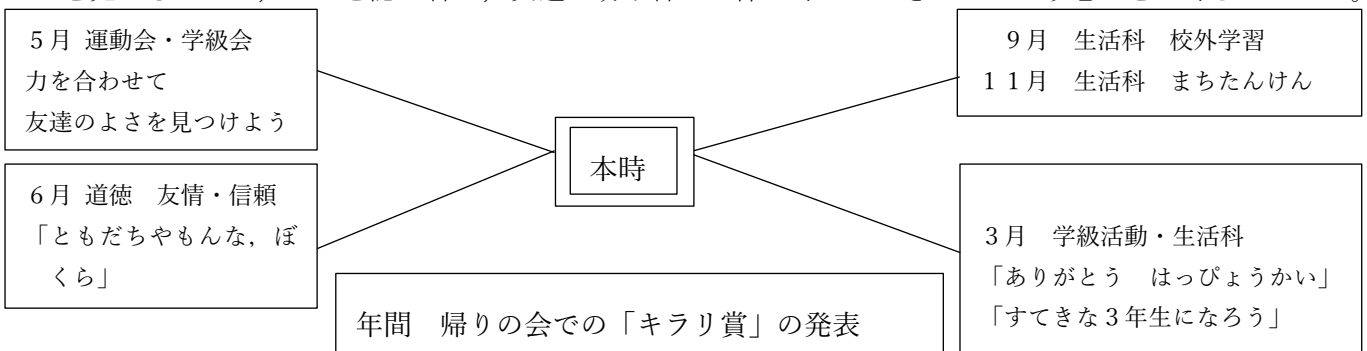
本学級の児童は、明るく素直であり、学習や行事等に対し意欲的に取り組み、協力する様子も見られる。1年生の頃と比べて、積極的に友達と関わって活動する児童が多くなってきた。しかし、まだ幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず、友達の立場を理解したり、自分とは異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じるようになっていくと考える。

「友達っていいなと思うのはどんな時ですか。」というアンケートの結果から、遊ぶ時、助けてくれた時、やさしくしてくれた時という回答があった。困っている時に友達がいてよかったと心から感じる経験はまだ少ない。友達と過ごす生活経験を大切にし、友達のよさを実感させていきたい。

道徳科の時間では、自分の考えを積極的に述べるができる児童がいる一方で、自分の考えがもてない児童や、考えをもちながらも友達の考えを聞くことに終始している児童もいる。本授業を通して、一人一人が自分事として考え、表現していけるように、役割演技や1人1台端末を取り入れ、友達と仲よくするよさを感じとれるような授業にしたい。

(3) 資料について (資料名「森のともだち」東京書籍)

本資料は、森の動物たちに乱暴していたきつねのこんきちが、おおかみに襲われた時に、森の動物達に助けられる内容である。最後の場面では、自分のことしか考えていなかった愚かさや仲間の大切さを実感し、こんきちは謝りながら大泣きをする。森の動物達の行動やこんきちの変容を考えることを通して、友達と仲よくすることのよさについて考えさせる教材である。終末では、学級の友達と助け合っている写真を見せることで、互いを認め合い、友達と助け合って仲よくしていきたいという思いをふくらませたい。



#### 4 本時の指導

##### (1)ねらい

森の動物たちの言動から、変容するこんきちの心情を考えることを通して、助け合っていくことの大切さに気づき、友達と励まし合っていこうとする心情を育てる。

##### (2)準備・資料

場面絵・ペープサート・タブレット・ワークシート

##### (3)展開

○個に応じた支援 (評) 評価

主な学習活動	発問と予想される児童の反応	支援の手立て
<p>1 友達と関わった経験を想起し、本時の学習テーマを捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>④友達と仲よくするって                      どういうことか考えよう。</p> </div> <p>2 資料「森のともだち」を読んで考える。</p> <p>①動物たちが何を相談したか考える。</p> <p>・スカイメニューのポジショニング機能を活用する。                      「自分が森の動物たちだったら、こんきちを助けるか助けないか」</p> <p>②こんきちが引き返そうとした時の思いを考える。</p>	<p><u>どんな時に友達っていいなと思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊ぶ時</li> <li>・一人の時に声をかけてくれた時</li> <li>・助けてもらった時</li> </ul> <p><u>こんきちの叫び声を聞いた動物たちは集まってどんな相談をしたのでしょうか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乱暴だから放っておこう。</li> <li>・食べられるのはかわいそうだ。</li> <li>・こんきちも森の仲間だ、放っておけない。</li> <li>・乱暴でわがままだけどみんなで助けよう。</li> <li>・どうやって助けようか。</li> </ul> <p><u>元の場所に引き返そうとしたこんきちは、どんなことを考えていたでしょう。</u>                      (みんなのそばにかけよったこんきちはどんな思いだったか。)</p> <p>自分の行動を反省するこんきち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなどうしているかな。</li> <li>・大丈夫かな。</li> <li>・ぼくだけ逃げてごめん。</li> <li>・助けてくれたのに・・・。</li> <li>・自分だけ逃げ恥ずかしい。</li> <li>・自分のことしか考えていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアンケートを提示し、話し合う。</li> <li>・これまでの自分の生活経験を振り返らせ、交流することで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。</li> </ul> <p>○場面絵を活用することで、登場人物の状況を確認し、人物の心情に寄り添って考えられるようにする。</p> <p>○自分事と捉えられるように、意思表示をさせる。その理由も聞き出しながら、一人一人の思いを大事にする時間を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんきちは、わがままで乱暴なことを押さえ、それでも友達として助けようとした森の動物達の優しさに気付かせる。</li> <li>・森の動物たちが助け合うと、おおかみにも立ち向かえたことを押さえる。</li> <li>・一人一人の考えを持たせるために、ワークシートにこんきちの思いを書かせる。</li> </ul> <p>○ペアで話し合う機会を設け、自分の考えを発表しやすい雰囲気を作り、その後全体で話し合うことにより、多様な考え触れることができるようにする。</p> <p>○自分の意見をしっかりとつづけることができるようにするために、ワークシートに各自意見を書く時間を設け、全員が話し合いに参加できるようにする。</p>

<p>3 自分とつなげて考える。</p> <p>・本学級の児童の助け合う場面の写真を見る。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・みんな乱暴して悪かった。</p> <p>(後悔だけなのか。)</p> <p><b>森の友達の一員として</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぴよん子がうらやましい。</li> <li>・助けてくれてありがとう。</li> <li>・みんなの中に入りたいな。</li> <li>・ぼくも仲よくしたいな。</li> <li>・これからは乱暴しないよ。</li> <li>・これからは、みんなが困った時、力を貸すよ。</li> <li>・助け合うて大切なんだな。</li> </ul> <p><u>友達がいてよかったと思ったことはありますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食準備の時間が送れている時に、みんなで協力したら、時間内に準備できてすごいと思った。</li> <li>・掃除中、バケツをひっくり返してしまって大変だったが、みんなが一緒に拭いてくれたので助かった。</li> <li>・逆上がりができなかったけど、教えてもらったり、励ましてもらったりしてできるようになって嬉しかった。</li> <li>・けんかもするけど、みんなで遊ぶと楽しい気持ちが増える。</li> <li>・友達と仲よく助け合っていてくっていいな。</li> <li>・困っている時には助けると気持ちいいな。</li> <li>・喧嘩しても仲直りできるといいな。</li> <li>・いいところを見つけて仲よくできるといいな。</li> </ul>	<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを助けてくれた友達のことが気になり出したこんきちの心の変化に気付かせる。</li> <li>・みんなのそばにかけよったこんきちの思いを考えることで、自分だけ逃げたことや、乱暴したことを後悔するこんきちの気持ちに気付かせる。</li> <li>・森の動物たちが助け合っている姿に目を向けさせることで、仲間のいることよさを感ぜさせる。</li> </ul> <p>(評)泣いているこんきちの心情を考えることで、助けられた感謝や友達と仲よく助け合うことの大切さに気付いたか。(発言・ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【目標が達成できない児童に対する手立て】</b>こんきちの気持ちに共感できるような言葉かけをする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活の中の自分の体験を語らせることで、友達と力を合わせてよかったという思いをもたせる。</li> <li>・学級遊びや日常生活の中で友達と互いに助け合っている場面を写真で紹介し、仲よくすることの大切さについて深められるようにする。</li> <li>・自分が親切にしたことやされたことだけでなく、その時の気持ちも交流できるようにする。</li> <li>・友達に嫌な気持ちをさせてしまったことがあるが、その反省を生かして、自分も周囲の人も気持ちよく過ごすことができた話を聞かせ、実践への意欲につなげる。</li> </ul>
--	--	--